

# 胸部ステント術

# 入院診療計画書

氏名  
患者番号

様

主治医名  
看護師名

作成日

日付	入院日	術2~1日前	術前	術後	術1日後	術2~7日後	術8~9日後
ステップ名称	手術に対する不安や疑問が解決され、穏やかに手術に向かうことができる			傷に問題がない		☆感染徴候がなく、発熱もなく過ごせる ☆食事がとれ、快調な排便・排ガスがあるよ（必要時には内服使用することができる） ☆痛みのコントロールができ、シャワーなどの基本的な日常生活動作が自立して行える ☆退院後の生活の注意点について説明できる	
その他の全身状態							
創部管理							
消化管				快調に排便・排ガスがあり、排便のコントロールが出来る			
知識・教育・理解	手術について理解できる			痛みのコントロールができ、日常生活を送ることが出来る			
自己管理							
投薬	☆今まで飲んでいた内服は全て看護師が回収し、確認します ☆内服薬は全て看護師が管理します	☆寝る前に下剤と睡眠導入剤を内服します 必要のない方は申し出てください				☆指示のある内服薬のみ開始します	
注射				☆点滴を継続し、さらに術後感染予防のため抗生剤を使用します		☆病状に併せて点滴は終了となります	
検査	検体検査・放射線	☆X線を撮影します	☆病状に合わせて、朝採血があります	☆手術後に採血・X線の検査があります	☆病室で採血・X線の検査があります	☆病状に合わせて、採血・X線の検査があります	
	生理機能検査	下肢の血流を確認する検査があります		☆手術後に病室で心電図の検査があります	☆病状に合わせて、心電図検査や、下肢の血流を確認する検査があります		
処置排泄	☆高血糖は手術の傷の感染をひきおこすため、食事前に血糖値を測定します 血糖値によってはインスリンを使用します						
			☆手術着にきがえます	☆手術後は排尿用の尿道カテーテルが挿入されています ☆酸素投与を行います	☆朝、医師が傷の消毒・観察を行います ☆お腹が動き出したら、食事を開始します 病状に合わせて食事の形態が変わります ☆尿道カテーテル挿入中、尿量を看護師が測定します 歩行できるようになったら、尿道カテーテルと抜去します 抜去後はトイレ・尿瓶での排泄が可能となります 術後の全身状態管理のため尿量測定を行います		
食事		☆夜21時以降は絶食となります	☆0時から禁飲食となります ☆朝、指示のお薬があれば少量の水で内服します	☆手術日は一日禁食となります ☆病状に合わせて飲水が可能になります (麻酔の影響でむせ混み易いので、最初は看護師と一緒に飲水します)			
清潔	☆手術前日までシャワー浴可能です				☆病状に合わせて、タオルで体を拭くお手伝いをします	☆傷の状態に合わせて、シャワー浴が出来ます	
安静度リハビリ	☆安静度は病院内は自由です ☆病棟を離れる際は、一声おかけください	☆車椅子で手術室へ向かいます		☆ベッド上安静になります	☆手術後は安静によって筋力低下が考えられます 看護師又は理学療法士とともにリハビリを行いながら安静度を上げていきます (リハビリは点滴等のルートがあるので、一人では行わないでください)		
	☆1日4回検温を行います ☆入院時に身長・体重を測定します			☆状態に合わせて検温を2時間ごと・4時間ごとに変更していきます		☆1日3回検温を行います	
説明	☆医師より手術の説明があります ☆看護師からも手術までの流れの説明があります ☆入院診療計画書の説明があります ☆貴重品は最小限にし、個人で管理をお願いします ☆集中治療室で必要な荷物を確認します	☆ご家族は、集中治療室の控え室でお待ちいただけます ☆コンタクトレンズ・義歯・指輪・ピン類は外してください		☆手術後は安静などにより、血栓(血の塊)ができやすい状態です ☆下肢の血栓を予防するため、きつめのストッキングやフットポンプを使用します ☆主治医より病状の説明があります	☆安全に安静度(動く範囲)を拡大するために、必ず看護師と共に歩く練習から開始します ☆状態が安定したら、一般病棟に移動します	☆退院までに退院後のイメージが出来るよう、退院指導(医師のパンフレット参照)を行います ☆痛み・血圧・排便コントロールの必要性を説明いたします ☆退院後に身体の症状で注意してほしいことを説明いたします	

※患者様の状態により、内容の変更がございます。 あらかじめご了承ください。

上記の通り説明を受けました。  
特別な栄養管理の必要性の有無

年 月 日  
 有り  無し

患者氏名 ( )  
代理人 ( )

続柄 ( ) 横須賀共済病院 2016年7月作成